

# 三井住友・ 新興国ハイクオリティ 株式ファンド

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：新興国ハイ株

2021年2月11日から2021年8月27日まで

第 **7** 期 償還日：2021年8月27日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として、新興国の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。当期についても、運用方針に沿った運用を行い、2021年8月27日に繰上償還となりました。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

償還価額(償還日)	12,632円80銭
純資産総額(償還日)	334百万円
騰落率(当期)	-1.5%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

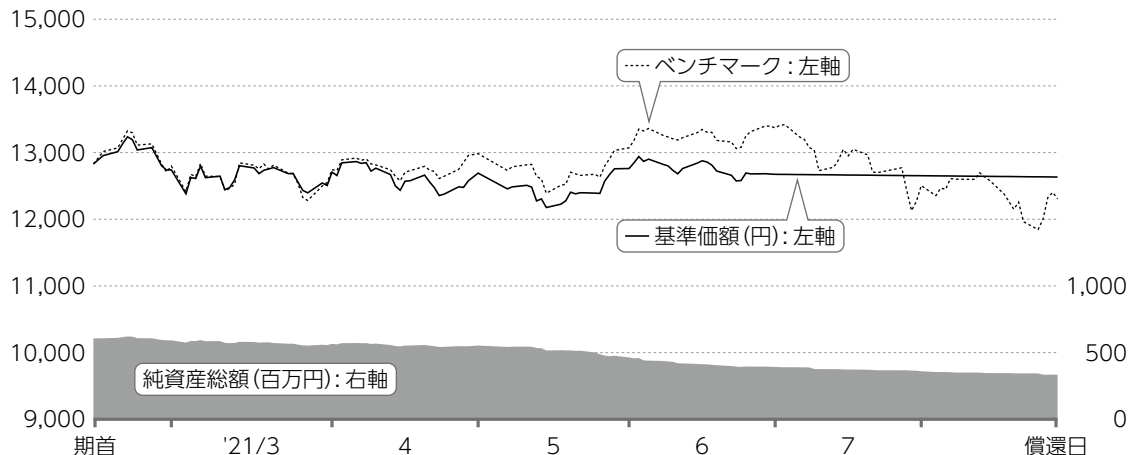
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

**[閲覧方法]** <https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

## 基準価額等の推移



※ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	12,829円
償還日	12,632円80銭
騰落率	-1.5%

※当ファンドのベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の株式に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円でのヘッジを行っていません。

### 下落要因

- 主にアジアで新型コロナウイルス変異型の感染拡大が続いたこと
- 中国で政府によるインターネット関連企業などへの規制が発表されたこと

## 1万口当たりの費用明細(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信託報酬</b>	<b>131円</b>	<b>1.032%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> 期中の平均基準価額は12,704円です。
(投信会社)	(73)	(0.573)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(53)	(0.418)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.042)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>4</b>	<b>0.029</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(4)	(0.029)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>2</b>	<b>0.017</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.017)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
<b>(d) その他費用</b>	<b>19</b>	<b>0.151</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
(保管費用)	(17)	(0.131)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(-)	(-)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(3)	(0.020)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>156</b>	<b>1.229</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

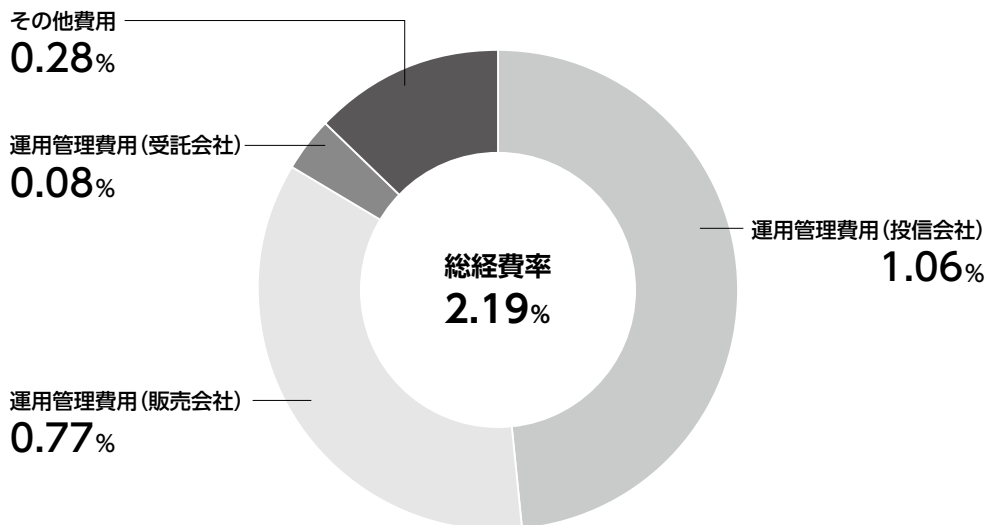
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

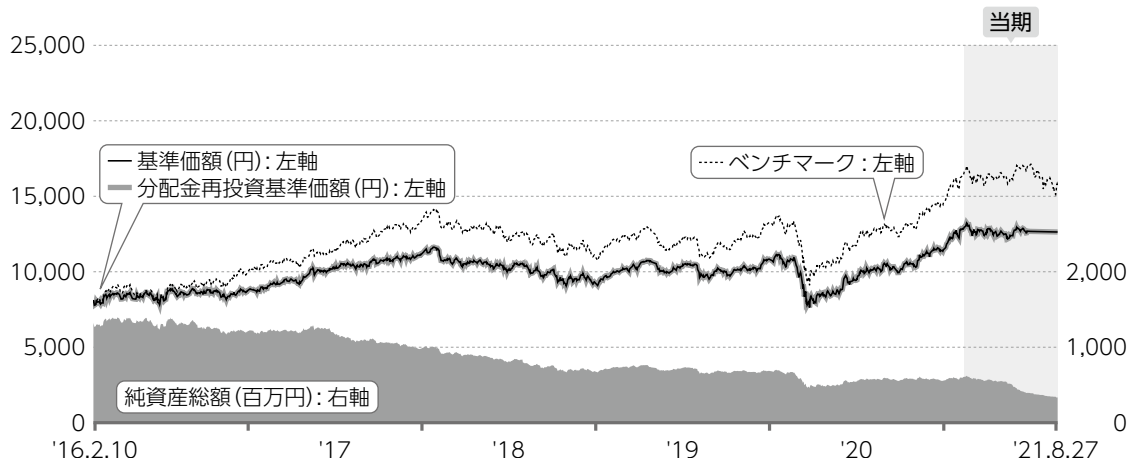
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.19%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2016年2月10日から2021年8月27日まで)

## 最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2016年2月10日の値が基準価額と同一となるように指数化していません。

	2016.2.10 決算日	2017.2.10 決算日	2018.2.13 決算日	2019.2.12 決算日	2020.2.10 決算日	2021.2.10 決算日	2021.8.27 償還日
基準価額 (円)	8,124	9,047	10,727	9,996	10,666	12,829	12,632.80
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.4	18.6	-6.8	6.7	20.3	-1.5
ベンチマーク騰落率 (%)	—	29.2	22.2	-6.1	7.7	26.3	-4.1
純資産総額 (百万円)	1,322	1,219	913	736	661	606	334

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

新興国株式市場は下落しました。新興国通貨は、中国人民元、インドルピー、ブラジルレアルなど主要新興国通貨は対円で上昇しました。

### 株式市場

新興国株式市場は新型コロナウイルス変異型の感染拡大を受け、今後の景気回復の勢いが鈍化することが懸念された他、ブラジルなど一部の国ではインフレ率の上昇が顕著であったことから利上げが実施され、市場の上値を押さえました。また、中国ではインターネット関連、教育関連企業への規制強化の動きもあり、大手インターネット株中心に株価は軟調な動きとなりました。トルコでは金融政策に関する意見の相違から大統領が中銀総裁を任命から5か月足らずで解任し、ブラジルでは大統領が燃料価格の高騰を巡り対立していた大手国有企業のCEOを解任するなど、政治関連のリスクも顕在化し、市場では嫌気されました。

### 為替市場

新興国通貨は対米ドルではまちまちの動きとなりました。ブラジルレアルは利上げを受け上昇した一方、インドルピーは下落しました。人民元はほぼ横ばいの動きとなりました。米ドル高・円安を受け、主要新興国通貨は対円では上昇しました。

ポートフォリオについて(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

## 当ファンド

「新興国株式アクティブ・マザーファンド」を主要投資対象とし高位に組み入れ、6月中旬以降償還に向けて現金化を行いました。

## 新興国株式アクティブ・マザーファンド

当初の運用方針通り、新興国の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

個別企業の成長性や収益性を精査し、ハイクオリティ銘柄を選択した結果、インドやインドネシア、香港などをオーバーウェイト、中国、ロシアなどをアンダーウェイトとしました。

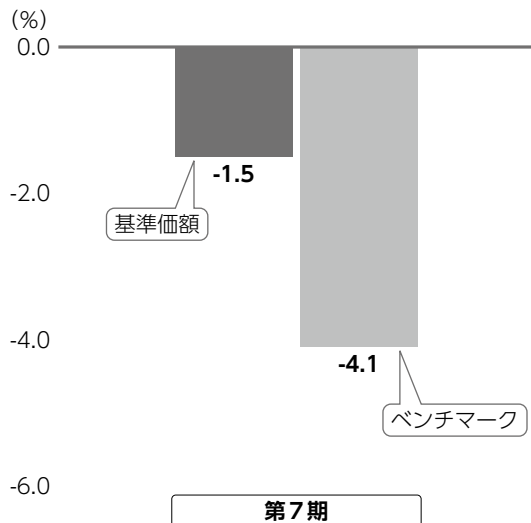
新興国の内需成長の恩恵を受ける生活必需品セクターをオーバーウェイトし、素材、エネルギーセクターなどをアンダーウェイト(非保有)としました。

新興国の内需成長の恩恵を受けるハイクオリティ銘柄である、テンセント(中国：メディア)の他、台湾セミコンダクター(台湾：半導体)などを保有上位としました。



ベンチマークとの差異について(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



当ファンドはMSCIEマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとしています。

左のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

ベンチマークとの差異の状況および要因

当期における基準価額の騰落率は-1.5%となり、ベンチマークの騰落率-4.1%を+2.6%上回りました。

プラス要因

- 6月中旬以降、償還に向けて現金化したため、それ以降ファンドの基準価額はほぼ横ばいの動きとなりましたが、その間、新興国株式市場が下落したため

#### 分配金について(2021年2月11日から2021年8月27日まで)

償還のため、該当事項はございません。

## 2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

## 3 お知らせ

#### 約款変更について

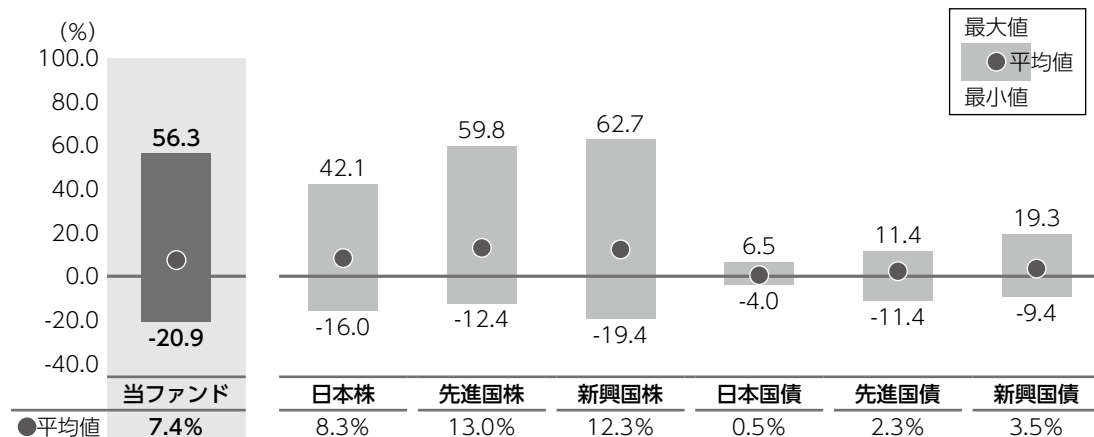
該当事項はございません。

## 4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年1月13日から2021年8月27日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として、新興国の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>新興国株式アクティブ・マザーファンド</b> 主として新興国に上場している株式や、新興国と関連の深い株式(日本を除く)
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として新興国の株式に投資し、中長期的にMSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)を上回る投資成果を目指します。</li> <li>■ボトムアップの視点から質の高い企業(ハイクオリティ企業)に適正な価格で投資することを目指し、新興国における「成長性と収益の持続性」と、「厳格なバリュエーション評価手法」による銘柄選択を行い、厳選された銘柄に投資します。</li> <li>■マザーファンドの運用指図に関する権限の一部をフロントベル・アセットマネジメント・インクに委託します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<p><b>当ファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p><b>新興国株式アクティブ・マザーファンド</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年2月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【2016年8月～2021年7月】



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

日本株	<b>TOPIX (配当込み)</b> 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。
先進国株	<b>MSCI コクサイインデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	<b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース)</b> MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	<b>NOMURA-BPI (国債)</b> 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	<b>FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)</b> FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	<b>JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)</b> J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

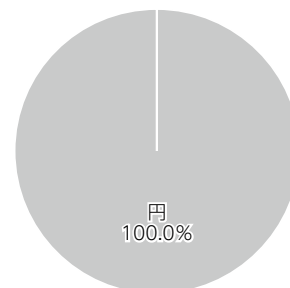
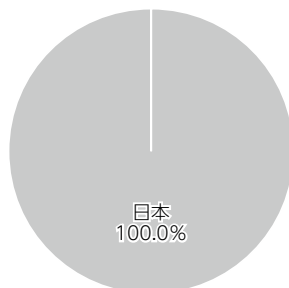
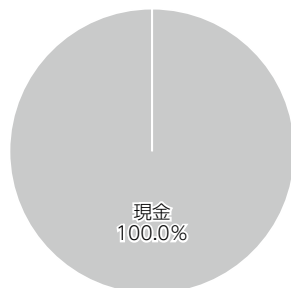
## 6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2021年8月27日)

### 組入れファンド等

※償還日現在の組入れはありません。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	償還日	
		2021年8月27日
純資産総額	(円)	334,543,252
受益権総口数	(口)	264,821,215
1万口当たり基準価額	(円)	12,632.80

※当期における、追加設定元本額は6,941,903円、解約元本額は214,625,376円です。

## 7 償還を迎えて

当ファンドは、2021年8月27日に繰上償還となりました。皆さまのご愛顧につき、お礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。